

今日から、令和8年度の富岡小学校がスタートしました。

学校の教育目標『心豊かでたくましく共に生きる富岡の子』の実現のために、今年度も、「一人一人が来たい学校」を目指します。そのために富岡小学校の先生たちが大切にしていきたいことは

【教育観】 この子のために寄り添いきる

【合言葉】 ◇良さを共有し、足りないところを補い合う教職員集団

◇児童（この子）、保護者の側に立ち、気持ちを押し量り、行動する教職員集団
子どもたちは、常に「もっとよくなりたい」「もっとほめてもらいたい」と願いながら生きています。子どもたちは「どの子も伸びようとしている」と思いながら生きている存在であると思えば、大人が子どもたちにかける言葉や接し方は変わってきます。そんな大切な子どもたちのために、職員一人一人の良さを共有し、足りないところを補い合い、子どもに「寄り添いきる」一年間にしていきます。

富岡小学校では、内面的にも安心でき、安全な環境を創り上げ、そして、子どもたちの声を真剣に聞きます。学校が安心して生活できる場所であるために、先生たちも全力で取り組むことを始業式で伝えました。どの子も安心して生活するためには、自分だけでなくまわりの人のことを考えて生活することが大切です。そこで、自分も周りの子も大切にして生活してほしいです。

保護者様や地域住民の皆様におかれましては、今後ともご理解とお力添えをお願いいたします。家庭教育と学校教育は車の両輪と言われます。全職員で富岡小学校の子どもたちの成長を喜び合えるように取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 山下 俊郎